



のべおか



市議会だより

第75号

平成30年5月1日発行
(2018年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1
TEL (0982) 22-7029

エンクロスのオープンセレモニーの様子



知育玩具の揃ったキッズスペース



本が自由に閲覧できるフリースペース



4月13日に全面開館したエンクロス

主な掲載内容

- ◆ 3月議会で決まったこと 2
- ◆ おもな議案の委員会審査報告 3
- ◆ 平成30年度当初予算をチェック 4

- ◆ 市政を問う(一般質問) 5～7
- ◆ 高校生、大学生との意見交換会を開催... 8
- ◆ 編集後記 8



3月議会で決まったこと

3月議会では、平成30年度一般会計予算など48件の議案と請願4件、陳情1件を審議し、3件の報告を受けました。一般会計予算に関しては、予算計上が見送られた複数の継続事業について、当初予算への予算計上を求める動議が可決され、その後、市長より動議の内容を含む一般会計補正予算(第1号)が提案されたことを受け、補正予算を含む46議案を可決、2つの条例案を否決しました。

※予算の組み替え動議とは、提案された予算案を編成し直すことについて、委員会の意思決定を求めて行われる議員からの提議のことをいいます。

議 案 (議案番号順に掲載)	結 果
平成30年度延岡市一般会計予算 他6件	可 決
エンジン01のべおか振興基金条例を廃止する条例の制定	可 決
延岡市個人番号の利用等に関する条例の一部改正	可 決
延岡市一般職職員給与条例等の一部改正	可 決
延岡市火災予防条例の一部改正	可 決
延岡市都市公園条例の一部改正	可 決
延岡市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正	可 決
延岡市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可 決
延岡市手数料条例の一部改正	可 決
延岡市山村定住住宅条例の一部改正	可 決
延岡市水道事業給水条例の一部を改正する条例の一部改正 ※次頁に審査内容を掲載	否 決
延岡市国民健康保険税条例の一部改正	可 決
延岡市国民健康保険条例の一部改正	可 決
延岡市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可 決
延岡市特別職職員給与条例の一部改正	可 決
延岡市駅前複合施設条例の一部改正 ※次頁に審査内容を掲載	否 決
延岡市介護保険条例の一部改正	可 決
延岡市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定	可 決
延岡市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可 決
延岡市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可 決
延岡市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可 決
延岡市学校給食共同調理場条例の一部改正	可 決
延岡市北方運動公園条例等の一部改正	可 決
財産の取得(延岡市土地開発公社からのクエアパーク延岡工業団地第2工区用地の取得)	可 決
財産の処分(株式会社中園工業所へのクエアパーク延岡工業団地第2工区用地の売却)	可 決
財産の処分(株式会社三井へのクエアパーク延岡工業団地第2工区用地の売却)	可 決
平成29年度延岡市一般会計補正予算(一次分) 他5件	可 決
延岡市職員退職手当支給条例等の一部改正	可 決
平成29年度延岡市一般会計補正予算(二次分)	可 決
平成30年度延岡市一般会計補正予算(第1号)	可 決
副市長の選任(山本一丸氏)	同 意
人権擁護委員候補者の推薦 6件 (大島紀世子氏、田中寛子氏、鳥原陽子氏、矢野廣文氏、堀野信子氏、小野久子氏)	同 意

報 告 案 件

専決処分の報告(物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)
専決処分の報告(車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定) 他1件

請 願 ・ 陳 情	結 果
東九州バス化構想の推進に関する請願	採 択
延岡市駅前複合施設「エンクロス」の早期開館を求める請願	採 択
延岡市駅前複合施設「エンクロス」の開館時期に関する請願	採 択
「(仮称)子どもの城」の建設に関する請願	採 択
「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書提出に関する陳情	不採択



3月定例議会のおもな議案の委員会審査内容を報告します!!

議 案	延岡市水道事業給水条例の一部を改正する 条例の一部改正 (都市建設委員会)	延岡市駅前複合施設条例の一部改正 (経済環境委員会)
概 要	平成29年12月定例会で可決した水道料金の改定を目的とする本条例改正について、水道事業のさらなる経営の見直しと、さらに国の支援制度の活用について改めて検討する期間を確保するため、施行期日を平成31年12月19日までの間において規則で定める日まで延期しようとするもの。	平成30年4月1日に開館することとなっている延岡市駅前複合施設(エンクロス)について、開館前に、維持管理費用と開館の効果の検証等を行うため、平成30年6月30日までの間において、規則で定める日まで条例の施行を延期しようとするもの。
主な 質疑・応答	問. 今後法改正等により補助制度を活用できる見込みはあるのか？	問. 延岡市駅前複合施設エンクロス開館による経済効果は、どのくらいになると試算しているのか？
	答. 補助制度については、採択要件の緩和等の制度見直し等により活用が見込める可能性はあるが、一方で該当する事業の補助率、用途、年数が限られる場合は、長期的な計画の中では継続的で安定した収入としての見通しが立てづらい面もあると考える。	答. 駅まちエリアへのマンション、アパート建設及び11店舗の新規出店に伴い、既に約15億7,800万円の投資が行われている。また、駅前街区の再開発に伴い、約22億7,000万円の投資が見込まれるほか、商店街における新たな消費額として毎年約6億円を見込んでいる。さらに毎年約2,450万円の固定資産税の増収が見込まれるところである。
委員会 審査結果	この他にも質疑応答が行われた後、議員間討議が行われ、「新市長の方針については、市民の負担軽減という点において尊重すべきものではないのか」との一部意見があったものの、平成29年10月の延岡市水道事業経営懇話会からの報告においても、早急な水道料金体系の見直し等の適正化の必要性が指摘されており、「今後の経営見直しについては、これ以上の業務委託などの活用が難しく、結果として将来の市民負担の増加が懸念される。したがって、喫緊の課題である老朽化した施設の更新と、継続した施設更新のために必要な安定した財源の確保のためには、料金引き上げを予定通り行うべきである」との意見が大勢を占め、採決の結果、 賛成少数により、否決すべきものと決定した。	この他にも質疑応答が行われた後、議員間討議が行われ、「施設の開館時期」や「公共施設での営業活動」などに関して種々の議論が交わされた。予算審査特別委員会において4月1日から開館するために必要な経費を計上する組み替え動議が可決されたほか、施設が完成し、早期開館を望む声が多くあることから、委員会としては当初の予定どおり開館すべきであるとの意見が大勢を占め、採決の結果、 賛成少数により、否決すべきものと決定した。

本会議 審議結果

両議案とも、賛成少数により否決した。



○当初予算(一般会計補正予算2億4,565万円を含む額)

会 計 別	平成30年度	平成29年度
一般会計	544億9,765万円	571億5,600万円
特別会計		
国民健康保険	139億4,526万円	176億4,050万3千円
食肉センター	10万円	10万円
介護保険	136億6,178万4千円	135億4,118万9千円
後期高齢者医療	16億3,644万5千円	16億9,967万8千円
企業会計		
水道事業	39億5,801万8千円	37億5,599万6千円
下水道事業	69億4,600万3千円	70億1,047万円

○一般会計補正予算 2億4,565万円

事 業 名	補 正 額
延岡駅周辺施設管理運営事業	1億3,500万2千円
「(仮称)子どもの城」整備事業	9,704万8千円
東九州バススク化構想推進事業	1,360万円

この動議に対し、市長は19日の予算審査特別委員会にて、要求した動議の内容に「東九州バススク化構想推進事業費」を含む補正予算案を計上する旨の対応表明を行い、22日の本会議にて、補正予算案を提案しました。

これを受け、議会は4日間の会期延長を決定し、同日中に予算審査特別委員会を開き審査を再開しました。そして、3月26日の本会議にて、当初予算案は賛成多数で、補正予算案は全員異議なく可決しました。

平成30年度各会計予算は、3月議会において、一般会計と介護保険特別会計は賛成多数で、その他の会計については、全員異議なく可決しました。

3月14日の予算審査特別委員会では、審査の充実を図るため、一般会計当初予算に計上されていない「エンクロス」(仮称)子どもの城「内藤記念館」と、事業費の一部しか予算計上されなかった「東九州バススク化構想」について集中審議を行い、「エンクロス」(仮称)子どもの城整備に関する予算の計上を求める旨の予算組み替え動議を賛成多数により可決しました。

平成30年度当初予算をチエック
市当局に予算の組み替えを求める!!

予算審査特別委員会における一般会計当初予算の組み替え動議提出の経緯

延岡市駅前複合施設「エンクロス」に関する予算

施設の管理運営経費の金額について、「本来事前に市民に示した上で着工の是非を判断すべきものであり、管理経費約1億3,500万円に対する検証をした上でないと予算計上はできない」との市長の判断により、当初予算への予算計上が見送られたものであったが、議会としては、①既に4月1日オープンに向けて指定管理者や関係団体により準備が進められていること②10年近く前から市民や関係団体による協議が続けられたものであり、駅周辺整備の最終局面にあること③4月1日のオープンに向け既に採用されている市民や、これから採用予定の市民が存在すること④指定管理者であるカルチュア・コンビニエンス・クラブから市長に2度に渡って送付された開館延期に伴う影響等を問う質問状に対し、未回答であること⑤経済効果の試算として、駅まちエリアにおける新たな年間消費額が約6億円、これまでのマンションやアパート建設などの投資が約15億円以上、それに伴う固定資産税収入が毎年約1,200万円、同エリアへの新規出店投資が約2,000万円、今後見込まれる駅周辺の再開発に伴う建築物整備による固定資産税収入が毎年約1,250万円、指定管理者から徴収する施設使用料が年額約250万円と、現時点で十分な経済効果が期待されることなどや、オープンを延期した場合の影響の大きさから4月1日に開館するために必要な経費を計上するよう、予算の組み替えを求めたものである。

《管理運営経費の内訳について》

◎指定管理者に支払う指定管理料9,994万円余

(人件費7,241万円余(23人分)、イベント関係経費197万円、施設管理費630万円余、一般管理費1,185万円余、消費税相当額740万円余)

◎市が各事業者に直接支払う経費として光熱水費など 約3,500万円余

※指定管理料に含まれる経費は人件費など施設の管理運営に直接要する経費であり、指定管理費で民業(カフェその他の収益事業)の経費は負担しない。

「(仮称)子どもの城整備に関する予算

「現在の基本構想に、小中学生や若者も楽しく過ごせる「遊び場」としての機能や、外貨を稼ぐための機能を拡充し整備するため、一度精査し、今後の在り方を再度検討する必要がある」との市長の判断により、整備に関する予算の当初予算への予算計上が見送られたものであったが、議会としては、①(仮称)子どもの城は、本来、延岡市の子育て支援の中心的な役割を果たしてきた「子育て支援センターおやこの森」を基礎に、子育てに悩む家庭や母親への支援の拡大、子どもの貧困対策、少子化対策に資することを目的とした施設であること②既に機能や規模ともに限界にきている「おやこの森」の施設の拡充が差し迫った喫緊の課題であり一日も早い完成が待たれていること③施設整備については、子育て支援関係者だけでなく、各種教育機関や関係団体、行政などで構成される「子ども・子育て会議」にて承認され、第6次延岡市長期総合計画として議会でも議決されたものであることなどから、当初の予定通り平成31年度中に完成させるために、基本設計及び実施設計に係る業務委託料、現整備予定地の土地購入費及び整備費を計上するよう、予算の組み替えを求めたものである。



市政を問う！

代表質問（関連質問を含む）

3月6日



友愛クラブ

代表質問 甲斐行雄 議員
関連質問 吉本 靖 議員

- 駅前複合施設「エンクロス」
- 東九州バススク化構想
- (仮称)子どもの城
- アスリートタウン再構築 他



のべおか市民派クラブ

代表質問 上杉泰洋 議員

- 一ヶ岡A団地の建設予定
- 土砂災害地域の再度の検証
- 総合相談センター
- バス交通ネットワーク整備 他



公明党市議団

代表質問 西原茂樹 議員

- (仮称)子どもの城の見直し
- 発明活動の推進とサポート
- 図書館の図書購入予算
- 市長任期の考え方
- 事業系廃棄物処理の在り方 他

3月7日



自民党きずなの会

代表質問 松田満男 議員

- 市長の政治姿勢
- 駅前複合施設「エンクロス」
- 内藤記念館
- 東九州バススク化構想
- 水道料金改定の凍結 他



社民党市議団

代表質問 松本哲也 議員

関連質問 長友幸子 議員

- 市長選挙
- 人権の尊重
- 子どもの貧困
- アスリートタウン再構築
- 延岡合衆国 他



議員13名が一般質問

※質問の一部を掲載します。

※○は未掲載

個人質問

3月8日



小野 拳 議員(自民党きずなの会)

- 延岡合衆国づくり
- 年度末予算の使い切り廃止
- 内藤記念館再整備予算 他



北林幹雄 議員(自民党きずなの会)

- (仮称)子どもの城
- 子ども医療費助成
- 北川町曾立地区内水対策 他



小野正二 議員(公明党市議団)

- 葛葉大橋下流の倒木処理
- 佐野川上流の農道橋
- 交通安全対策 他



中城あかね 議員(自民党きずなの会)

- 農山漁村版ハローワーク
- 第一次産業の10%所得アップ
- 健康マイレージ事業 他



下田英樹 議員(友愛クラブ)

- 子どもの貧困
- 事業系廃棄物
- 防災・減災対策 他



稲田雅之 議員(自民党きずなの会)

- 水道料金値上げ凍結(1)
- 水道料金値上げ凍結(2)
- これまでの重要施策の継続 他

3月6日 質問

駅前複合施設「エンクロス」

【問】エンクロスの開業延期の影響で、すでに雇用が決まっている45人の今後の処遇については。

【答】人件費等の契約に係る問題はC・C・Cの社長に話をした。議会等で予算が成立し、開館する段階で契約が成立するものであり、要するに内定の段階との認識を伝え、いろいろな考え方を説明しており、一定の理解を得ているものと思う。



エンクロスの外観

東九州バススク化構想

【問】構想に基づく様々な事業展開により、料理人と生産者が互いの顔の見える関係になりつつあり、延岡創生の推進

に寄与するものと考えている。こうした中、より効果的な展開を図るための、具体的見直し内容は。

【答】これまで進めてきたバススク化構想の取り組みには第一次産業の振興の面において、効果が見えにくいとの意見を聞いており、必要な見直しを行いたい。

(仮称)子どもの城

【問】市長の言う県外から家族連れで来るような施設は、新規事業として取り組むべきである。子育て支援施設の拡充は差し迫った課題であり、速やかに建設すべきでは。

【答】現在の構想では未就学児とその家族を対象とした施設内容が一つの柱である。市民に期待される施設を整備するには小学生やその家族をはじめ、多くの市民に喜ばれる施設として必要な要素を、現時点で可能な限り盛り込みたい。

一ヶ岡A団地の建設予定

【問】一ヶ岡A団地は、昭和町・川原崎町の団地のように津波避難場所になると聞いている。一ヶ岡A団地の建設予定は。

【答】鉄筋コンクリート造で、高さが15mの5階建てになっており、概ね1,200名の住民が避難可能な施設として、31年度中

に完成予定である。

土砂災害地域の再度の検証

【問】九州北部豪雨で被害を受けた朝倉市等の現地を見れば、丘陵帯のような低地でも土砂災害が起きている。土砂災害指定地域の再度の検証は。

【答】近年の状況を踏まえ、県と連携を図りながら土砂災害警戒区域等の指定にしっかりと取り組む。

総合相談センター

【問】ワンストップ何でも総合相談センター設置の考えは。

【答】市民、特に高齢者の方が困りごとをどこに相談したらいいのかといった場合、市民に最も身近な市役所がワンストップで受け止める、いわゆる365日駆け込み寺の設置を考えている。

バス交通ネットワーク整備

【問】本市には、買い物や医療機関への交通に不便を抱えている地域も多く、早期の交通手段の確保が必要である。バス交通ネットワーク整備の考えは。

【答】地域ポフンティア等による巡回車がバス停までの送迎を行い、バス停からは路線バスやコミュニティバス、また乗合タクシーを利用する交通ネットワーク整備を考えている。



(仮称)子どもの城の見直し

【問】さらなる子育て支援の充実と子育て世帯の負担軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めるため、当初の構想通り、31年度完成に向けて整備を進めるべきでは。

【答】市民から、小中学生や若者も楽しく過ごせる健全な遊び場が必要との声を聞いており、この実現のために現在の構想に必要な要素を付け加えた。

発明活動の推進とサポート

【問】知的財産権を活用し、延岡を良くするため、発明に関心を抱かせるPRをする取り組みや特許の申請までのサポート体制の構築はできないか。

【答】市民にも幅広く関心を持って頂けるよう、積極的なPRなど、きめ細やかな対応に努める。

図書館の図書購入予算

【問】市民一人当たりの購入費は98円と県内9市の中で、実質最下位である。都城市が145円、日向市が180円、最も高い串間市が286円となっている。市民教育の向上を図るためにも増額を図るべきでは。

【答】このままではいけない。全体の予算の財源などを見ながら、何とか増やす方向で対応できないか検討していく。

市長任期の考え方

【問】市長の任期についての考え方は。

【答】市長の最も重要なことは、公約をしっかり実現することであり、自身の任期を予め決めるというとは考えていない。

3月7日 質問

市長の政治姿勢

【問】前市長との引き継ぎは。

【答】引き継ぎが予定されていたことは認識していなかった。引き継ぎについては、事務引継書という形で、書面にて前市長から受けている。具体的な事務や、これまでの事業の経緯等については職員から様々な説明を受けており、市政の業務に支障がでることのないよう取り組んでいる。

駅前複合施設「エンクロス」

【問】電車やバスの待合スペースに関する予算は、今回計上することとあったが、計

上されていない。どのくらいの額をいつ議会に提案するのか。

【答】4～6月までの3か月で約850万円との試算が出ている。これらの経費は今回提案している30年度当初予算の範囲の中で対応したい。

内藤記念館

【問】今回の予算計上見送りで開館時期に遅れは。

【答】33年の春に完工を予定していたが、地元木材の使用など見直しを行いたい。そのため、関係機関との協議や設計変更に要する期間に加えて、文化財を保護するため、コンクリートから発生するアルカリガス等の濃度を下げる期間が二夏経過を必要とすることから、最低でも1年の遅れは生じると考えている。



内藤記念館 外観完成イメージ図

東九州バス文化構想

【問】地方創生交付金として受ける予定の金額は。

【答】国の支援額は、地方創生加速化交付金が4,230万円、地方創生拠点整備交付金が約8,300万円、地方創生推進交付金が29年度～33年度の5か年の計画における見込み額として、約1億6,300万円となっている。

市長選挙

【問】投票率などを踏まえ、選挙戦を振り返り、現在の率直な感想は。

【答】投票率が過半数に達しなかったことは残念であるが、対話により、市民が主役の延岡にしなければと決意を新たにしたい。延岡人で良かったと実感できる延岡づくりに向け、全身全霊で市政に取り組み覚悟である。

人権の尊重

【問】人権の尊重に対する基本的な姿勢は。

【答】人権の尊重は、極めて重要な視点と考えている。あらゆる人権問題の解決と全ての人の人権が尊重される社会の実現を目指し、鋭意取り組んでいく。

子どもの貧困

【問】子どもの貧困に対する所見は。

【答】国の経済環境における様々な要素が影響していると思われる。貧困の実態をしっかりと認識し、様々な支援を検討し、子ども達の豊かな未来の実現に向けた施策に取り組む。

アスリートタウン再構築

【問】草の根アスリートに光を当てる方針は。

【答】「アスリートタウンのまちづくり」は再構築の時期。今後、更なるスポーツや観光の振興等に幅広く展開するため、施設の整備・改修等を検討し、計画的に整備を進めていきたい。

延岡合衆国

【問】どのような構想か。

【答】合併3町の総合支所に一定の予算と権限を持たせ、より一層、地域の実情に合った振興施策の展開と要望の迅速な対応を可能にし、課題解決を図る発想のことを表現している。



3月8日 質問

延岡合衆国づくり

【問】市長は、公約において延岡合衆国づくりを挙げています。その中で各総合支所が独自の財源と権限を持つとしているが、具体的な考えは。

【答】3北地域の振興には、国の過疎対策制度が使えるので、それをフルに活用するとともに予算編成、執行等に各総合支所で判断できる部分を大きく拡大したい。

年度末予算の使い切り廃止

【問】市長公約の中で「予算の使い切り廃止」とあるが、使い切りの行われている具体的な事業は。

【答】具体的な事例を把握しているわけではないが、最少の経費で最大の効果を上げるため、予算編成時のみならず、予算執行の面においても、より一層の経費節減を図る。

葛葉大橋下流の倒木処理

【問】小川左岸が浸食され、複数の立木が倒れ、増水時に流水となる可能性がある。潜水橋等の被害防止のため、倒木処理ができないか。

【答】山林が浸食され、木が倒れた状況であり、尾平潜水橋には、流水が引つ掛かっている。潜水橋の流水については、市の管理施設であることから早急に対応していきたい。倒木処理は県が出水期までに実施する。

佐野川上流の農道橋

【問】現状と架け替え計画は。

【答】大きな変状はない。30年度に詳細設計と地元説明及び用地買収を行い、31年度から32年度にかけ工事を実施したい。

交通安全対策

【問】富美山交差点の安全対策として、右折信号の設置ができないか。

【答】現場検討会を開催し、設置の必要性を検討する。

子どもの貧困

【問】宮崎県の子どもの貧困率は19.5%で全国ワースト6番目、5人に1人は貧困というデータがある。子どもの貧困対策は。

【答】公的機関の支援制度や児童福祉施設のサービス、子ども食堂などの資源を洗い出してまとめている。また、子どもの貧困対策推進委員会を立ち上げ、様々な意見を聞いている。

事業系廃棄物

【問】事業系廃棄物に関する取り扱いが厳密になり、事業者はごみ処理に必要な金額が上がる事となった。一般ごみとして出せる例外措置は。

【答】事業系一般廃棄物の例外措置として、住居と事業所が一体となっている店舗兼住宅等では、ごみ袋1袋までは家庭ごみと一緒に出せることとなっている。

(仮称)子どもの城

【問】現計画の速やかな実行以外選択肢はないと思うが。

【答】現在の計画を根本から変更するのではなく、現時点で必要な要素は可能な限り盛り込みたい。



(仮称)子どもの城
内観イメージ図

子ども医療費助成

【問】中学3年生まで拡大した場合、仮に無償化であればど

の程度の財源が必要か。

【答】28年度実績から推計すると、助成額は5億2,000万円程度と見込まれ、現在より2億9,000万円ほど増える」と試算される。

北川町豊立地区内水対策

【問】北川の堤防と同じ高さまで谷川の堤防を嵩上げする案を軸に国・県・市で調整を行うとする前市長の考えを引継ぐのか。

【答】今後、整備効果や概算費用、地区に与える影響などを総合的に勘案する。

農山漁村版ハローワーク

【問】攻めの第一次産業でマンパワー確保とあるが、農山漁村版ハローワークとは。

【答】期間限定的に他の業種で働くことのできる仕組みづくりや労働力等の不足を解消するための取り組み。

第一次産業の10%所得アップ

【問】具体的な政策は。

【答】JA等とも連携し、生産数量の増加や品質の向上に加え、高付加価値化による生産額のアップを図りながら、併せて機械の共同利用や作業効率の向上などコスト削減を図る取り組みを支援する。

健康マイレージ事業

【問】どのような事業か。

【答】「13万人のチャレンジゲット健康長寿ポイント」事業をさらに強化し、特典やメリットを充実させる。

水道料金値上げ凍結(1)

【問】水道施設耐震化の先延ばしでは。

【答】法定耐用年数を経過したにも関わらず更新が出来ていない水道施設が年々増加している。老朽化した施設が増加すれば、市民生活に大きな影響を及ぼす恐れがあるため、先送りすることなく早急に対策を講じる必要があることは十分認識している。

水道料金値上げ凍結(2)

【問】凍結を最大期間実施した場合、料金収入による財源がいくら失われ、それにより市民にどのようなデメリットがあるのか。

【答】1年間で約3億円、1か月あたり約2,500万円である。この分、水道事業会計の起債残高が増えるなど課題が生じる。これらの状況と市民負担の抑制効果との比較衡量で判断することになる。



用語解説

【注1】

エンクロス

延岡市駅前複合施設の愛称で、公募により決定した。「人と人との縁が交差する場所」が名前の由来。

駅周辺エリアの賑わい創出のため整備された公共施設であり、公共部門として、待合スペース・情報発信スペース・キッズスペース・図書閲覧スペース・市民活動スペースがあり、民業部門として、蔦屋書店・スターバックス・コーヒーがある。

【注2】

知的財産権

産業上の創意、工夫、あるいは音楽、小説などの文化的な創作といった人間の様々な知的創造活動によって創り出された無形の経済的価値を対象とした著作権や特許権等の権利の総称。

【注3】

子どもの貧困率

貧困率とは、世帯収入から国民一人ひとりの所得を試算して順番に並べ変えたとき、貧困線（中央にある人の所得の半分）に届かない人の割合。子どもの貧困率は、18歳未満でこの貧困線を下回る人の割合を指す。

高校生、大学生との意見交換会を開催!!

市議会では、若い世代の意見を聞き、まちづくりの参考とすることや、議会に親近感を持つてもらうことを目的として若者との意見交換会を行っています。

29年度は1月に延岡星雲高校の生徒と、2月に九州保健福祉大学の学生との意見交換

会を開催し、「延岡の魅力」「若者の市外流出」「賑わい創出のためのエンクロスの活用方法」「防災」など4つのテーマについて、若い世代ならではの視点で様々な意見を頂きました。意見交換会での若者の声を一部紹介します。

延岡星雲高校

- 延岡の自然や食の魅力を改めて確認した。
- エンクロスのオープンが楽しみ。
- 商店街の活性化や若者を呼び戻す方法などをテーマに意見交換してみたい。
- 空き家、空き店舗を有効活用してほしい。
- 意見交換を通じて、これからの延岡の話が聞けて良かった。

九州保健福祉大学

- 延岡は市民活動が進んでおり、市民の意見がしっかり取り入れられていると思う。
- 公共交通をテーマに意見交換を行いたい。
- エンクロスの完成により若者が増えてくると思う。イベント情報等を流すと、さらに利用者も増えると思う。
- 駅にレンタサイクルがあるとうれしい。
- 議員との話の中で発見がたくさんあった。
- 知らないことが多かったが、発見がたくさんあり、これからの延岡に興味を持った。
- 延岡が防災対策に力を注いでいることは新たな発見だった。

アンケートでの意見

今後もアンケートの意見等を参考にしながら、より良いまちづくりに努めます。

編集後記

気温の変動の激しい冬から春となり、延岡花物語が開催され、ソメイヨシノを代表する桜も開花が例年より早かったようです。

さて、新市長の就任と共に、今までになく、本会議の傍聴席が満席となり、傍聴席に入れなかった方がモニター室で視聴するなど、議会は、市民の方々の注目を浴びています。

市長と議会の二元代表制の地方自治を進めていく上で、重要なのは胸襟を開いて本音の議論を行い、そして決めたことを実行していくことです。

市民の声を政治に反映し、行政をチェックする立場として、今後も緊張感を持って、議会制民主主義を進めてまいります。

